

カンボジア・ラオス出張について

平成 26 年 4 月 30 日

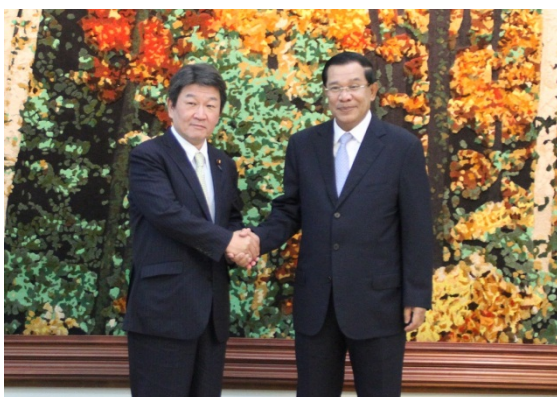
4 月 26 日から 29 日の日程でカンボジア、ラオスを訪問しました。今回の出張では、両国首脳や貿易・産業・エネルギー担当大臣との会談等を行い、①日系企業が各国に進出する際の事業環境の改善、②人材育成、インフラ整備、エネルギーや医療分野での協力等を通じた各国との関係強化、③日 ASEAN 協力の深化等に取り組むことで同意しました。

1. カンボジア

フン・セン首相、スン・チャントル商業大臣、ソック・チェンダ首相府特命大臣、チャム・プラシッド工業・手工芸大臣との会談を行いました。フン・セン首相からは、今回の訪問が、昨年 12 月に首脳間で合意した戦略的パートナーシップの更なる強化に資するものとして、高い評価を受けました。

一連の会談では、カンボジアに進出する日系企業の声を踏まえて、税制・電力供給・通関手続き等のビジネス環境の整備について申し入れ、前向きな回答を得ました。更に、新たな人材育成プログラム（MOTEGI プログラム（Management & Operation Training for Economic development with Global Internship））を立ち上げた他、石油鉱区開発、二国間オフセット・クレジット制度の活用、日本の医療技術を活用した救命救急センターの設立等の幅広い分野で協力していくことで一致しました。先方からは、中小企業政策への支援や、両国間の貿易拡大に関する新たな枠組みの設置に関する提案があり、前向きに対応していくこととしました。日 ASEAN、RCEP 等の東アジア地域における協力の推進についても合意しました。

また、首都プノンペンに日本の中小企業の海外展開をワンストップで支援する「中小企業海外展開現地支援プラットフォーム」を立ち上げました。これで海外でのプラットフォームの立ち上げは、11 箇所目になります。



フン・セン首相との会談



中小企業海外展開現地支援
プラットフォーム発足式

2. ラオス

トンシン首相、ソムディ計画投資大臣、ケンマニー商工大臣、スリヴォン・エネルギー鉱業大臣との会談を行いました。

一連の会談では、ラオス側より日系企業の進出を歓迎し、全面的に支援する旨が表明されました。また、新たな人材育成プログラム（MOTEGI プログラム）を立ち上げた他、日本企業が参画する水力発電所等のインフラ整備、救命救急センターの設立等の幅広い分野で協力していくことで一致しました。日 ASEAN 協力の推進についても合意しました。

また、首都ビエンチャンにおいて、ラオスの関係大臣と共にJETRO 事務所の開所式に出席しました。本事務所は、昨年11月の安倍首相・トンシン首相の首脳合意に基づくもので、日本からラオスへの投資促進はじめ日ラオス経済関係の強化につながるものとしてラオス政府からも高く評価されました。

ちなみに、東南アジアのテープカットはカンボジアでもラオスでも、写真のようにとても派手（立派？）です。



トンシン首相との会談



JETRO ビエンチャン事務所開所式